

- 問1 奈良時代から平安時代にかけて、当時の中国の王朝が持つ優れた文化や政治制度、仏教などを日本へ導入することを目的に派遣された使節を何といえますか。また、この使節に同行して海を渡り、帰国時に茶の種子を日本へ持ち帰ったとされる人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 遣唐使と最澄 2. 遣隋使と最澄 3. 遣隋使と小野妹子 4. 遣唐使と空海
- 問2 律令制度の下で作られた721年の戸籍には、当時の人々の氏名や年齢が詳細に記録されています。この戸籍に基づき、6歳以上の人々に農地を割り当て、その人が亡くなると国に返還させた制度を何といえますか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法 2. 班田収授の法 3. 太閤検地 4. 地租改正
- 問3 663年に日本が百済の復興を助けるために派兵し、唐と新羅の連合軍に敗北した戦いを何というか、正しいものを選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 湊川の戦い 2. 白村江の戦い 3. 壇ノ浦の戦い 4. 壬申の乱
- 問4 奈良時代、聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建立するなど、仏教の力で国家を治めようとしていた時期、政府は口分田の不足を補うために、新しく開墾した土地の永年私有を認める法令を出しました。この法令によって、公地公民の原則が崩れるきっかけとなったものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 班田収授法 2. 大宝律令 3. 三世一身の法 4. 墾田永年私財法
- 問5 藤原鎌足から不比等へと続く藤原氏の系図において、不比等の娘である光明子が聖武天皇の皇后として記されている時期の文化について、その特色として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化 2. 藤原頼通が平等院鳳凰堂を建立した時期に、日本の風土や生活に合わせた優雅な国風文化 3. 小野妹子が遣隋使として派遣された時期に、飛鳥地方を中心に栄えた日本最古の仏教文化 4. 奥州藤原氏が平泉に本拠を置き、中尊寺金色堂を建立した時期の東北地方独自の文化
- 問6 土地制度の歴史において、墾田永年私財法によって確立された、土地を個人の財産として永続的に保有できる権利を指す概念として適切なものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 収穫の一部を納めることを条件とした一時的な占有権 2. 国から一定期間のみ貸し与えられる権利 3. 期限の定めのない永久の所有権 4. 一代限り認められる利用権
- 問7 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特色を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。 2. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。 3. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。 4. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。
- 問8 飛鳥時代から奈良時代にかけて九州北部に置かれ、西日本の統括や、東アジア情勢に対応した外交・防衛の拠点となった古代の地方官庁を何と呼びますか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 六波羅探題 2. 大宰府 3. 国府 4. 鎮守府
- 問9 律令制において、成人男性の負担として定められた税のうち、各地の特産品を都まで運んで納める義務を何と呼びますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 庸 2. 租 3. 雑徭 4. 調
- 問10 754年に、5度の失敗や失明という困難を乗り越えて唐から来日し、唐招提寺を建立して日本の仏教における戒律の制度を整えた人物は誰ですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 鑑真 2. 行基 3. 道鏡 4. 空海
- 問11 奈良時代の文化を象徴する和歌集である『万葉集』の大きな特徴を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 紀貫之によって編纂された初の勅撰和歌集であり、ひらがなを用いた繊細な表現で貴族の生活が詠まれている。 2. 聖徳太子の時代から伝わる仏教の教えを、一般の人々にも分かりやすく伝えるための教訓歌が中心である。 3. 後鳥羽上皇の命によりまとめられ、武士の台頭という社会の変化を反映した力強い歌風が中心となっている。 4. 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられ、天皇から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。
- 問12 日本の歴史の流れを整理した年表において、律令国家の成立期と院政の開始期の間に位置し、唐の長安を模した大規模な都市計画に基づいて建設された都について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 持統天皇によって建設された、中国の都を模した日本初の本格的な都城である。 2. 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。 3. 聖武天皇が仏教による国家の安定を願って、一時的に山城国に遷した都である。 4. 794年に桓武天皇が新しい政治を求めて、京都の地に建設した。
- 問13 聖武天皇が全国に国分寺・国分尼寺を建立し、さらに都の東大寺に巨大な盧舎那仏（大仏）を造営した目的として、当時の背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 度重なる災害や疫病による社会不安を、仏教の力によって鎮め、国の平和を願うため 2. 大陸の文化を積極的に取り入れ、特定の外国勢力と同盟を組むための外交拠点とするため 3. 急激に台頭してきた武士の勢力を抑え、天皇を中心とした軍勢力を強化するため 4. 有力な貴族たちが個人的な信仰を深めるために、一族の繁栄を祈る場所を作るため
- 問14 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 大伴家持 2. 山上憶良 3. 藤原定家 4. 紀貫之

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣唐使と最澄	遣唐使は、唐の律令制度や仏教文化を直接学ぶために日本から派遣された公式の使節です。天台宗を開いた僧の最澄は、804年にこの使節の一員として唐に渡りました。最澄は仏教の教えだけでなく、茶の種子を日本に持ち帰り、それが日本の喫茶文化の始まりの一つになったという伝承が残されています。遣隋使は唐の前の王朝である隋に送られたものです。
問2	答え 2 班田収授の法	律令国家が「公地公民」の原則に基づき、民衆に土地を分け与えて税（租）を徴収するために整えた仕組みです。6歳以上の男女に「口分田」を与え、死後は国に返させることで、土地の私有を防ぎ国家による支配を維持する目的がありました。
問3	答え 2 白村江の戦い	663年に日本が百済復興のために派兵し、唐と新羅の連合軍に敗れた戦いを白村江の戦いといいます。この敗戦をきっかけに、日本の対外政策や航路が大きく変化しました。
問4	答え 4 墾田永年私財法	人口の増加にともない、班田収授法に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。723年の三世一身の法に続き、743年に出されたこの法令は、一度開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めたため、有力な貴族や寺院による土地の私有が進み、後の荘園の形成へとつながりました。
問5	答え 1 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化	聖武天皇の皇后である光明子（光明皇后）が活躍した奈良時代中期の文化は天平文化と呼ばれます。この時期は、遣唐使によって唐の進んだ制度や文化だけでなく、シルクロードを経由して西アジアやインドの文化も日本に伝わりました。また、聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺の大仏などが造られたことも大きな特徴です。
問6	答え 3 期限の定めのない永久の所有権	「墾田永年私財法」の名称に含まれる「永年」という言葉は、文字通り「末長く、ずっと」という意味を持っており、土地を「永久」に自分の財産（私財）として持ち続けることができる権利を指しています。それまでの律令制下では、土地はすべて国のものとする「公地公民」が原則であり、農民には「口分田」が貸し与えられるのみでしたが、この法令によって私有という概念が公的に確立されました。
問7	答え 3 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。
問8	答え 2 大宰府	九州北部に置かれた大宰府は、西日本の統括に加えて、中国や朝鮮半島などの東アジアとの外交や防衛を担う重要な拠点でした。なお、東北地方の防衛や統治を担った官庁は鎮守府です。
問9	答え 4 調	律令制下の税制において、その土地の産物である絹、布、糸、または海産物や塩などの特産品を納める税を調といいます。収穫した稲を納める「租」や、都での労役の代わりに布を納める「庸」と区別して覚える必要があります。
問10	答え 1 鑑真	天平文化を代表する僧である鑑真は、当時の日本で不十分だった「正しい僧侶となるための規律（戒律）」を伝えるために来日しました。彼が建立した唐招提寺は、当時の国際的な建築様式を今に伝える重要な文化財となっています。行基は民衆への布教や大仏建立への協力で知られ、空海は平安時代に真言宗を広めた人物です。
問11	答え 4 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられ、天皇から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。	万葉集の最大の特徴は、歌の作者が天皇や貴族だけでなく、東国の防人（防人歌）や農民など、身分を問わず多岐にわたっている点にあります。まだ、かな文字が発明されていなかったため、漢字を日本語の音として利用する「万葉仮名」という独特の表記方法がとられており、当時の人々の生の声を知る貴重な資料となっています。
問12	答え 2 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。	律令体制を強化し、天皇を中心とする中央集権国家を完成させるために、大規模な遷都が行われました。この時期は国際色豊かな「天平文化」が栄え、遣唐使を通じて大陸の文化が数多くもたらされたことも特徴です。
問13	答え 1 度重なる災害や疫病による社会不安を、仏教の力によって鎮め、国の平和を願うため	奈良時代中期は、藤原広嗣の乱などの政情不安に加え、疫病（天然痘）の大流行により多くの犠牲者が出ていました。聖武天皇は、個人の救済ではなく、国家全体の安泰を仏教の力に求める「鎮護国家」の考えに基づき、東大寺の大仏建立や国分寺の設置を国家事業として進めました。これは貴族の私的な信仰ではなく、国全体の安定を目的としたものです。
問14	答え 1 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。